

『*medicina*』 第55巻 総目次

2018年 第1号～第13号

(数字は頁数, ()は号数を示す.)
(4号(増刊号)は10頁以降に掲載.)

【特集】

■ 気管支喘息・COPD 診療に強くなる

〈座談会〉

ガイドラインが変わっても困らない!

気管支喘息・COPD の日常診療

……青島 正大・松永 和人・寺本 信嗣 8(1)

〈最近の気管支喘息・COPD の考え方の変化〉

COPD, 気管支喘息の診断に変化はあったか?

……異 浩一郎・寺田 二郎・坂尾誠一郎 16(1)

フェノタイプという言葉が示すもの

……原 悠・堀田 信之・金子 猛 20(1)

バイオマーカーは気管支喘息・COPD 診療に有効か?

……長瀬 洋之 26(1)

エンドタイプとは?

……赤羽 朋博・近藤 光子 30(1)

〈気管支喘息・COPD の初期診断はこうすべき〉

血液検査や呼吸機能検査, 喀痰検査の最初の一步

……桂 秀樹 33(1)

気管支喘息の初期診断はこうすべき

……山脇 聡 38(1)

COPD の初期診断はこうすべき

……川山 智隆・木下 隆・富永 芳和 45(1)

画像検査で気管支喘息と COPD(気道型)は鑑別が可

能か? ……高橋 雅士 52(1)

呼吸機能検査で気管支喘息, COPD, ACO は鑑別可

能か? ……桑平 一郎 58(1)

救急外来での対応—呼吸苦・息切れへの対応も含めて

……星 哲哉 62(1)

〈気管支喘息・COPD の類縁疾患—どう鑑別し, 対応するか〉

咳喘息 ……新実 彰男 68(1)

アトピー咳嗽

……西 耕一・大倉 徳幸・藤村 政樹 72(1)

びまん性汎細気管支炎

……吉村 邦彦・関谷 宗之 77(1)

リンパ脈管筋腫症(LAM)

……西野 宏一・瀬山 邦明 80(1)

アレルギー性気管支肺アスペルギルス症

—真菌と喘息, 慢性咳嗽との関わりも含めて

……鈴木慎太郎・相良 博典 84(1)

好酸球性多発血管炎性肉芽腫症

……中下 珠緒・吉田 晃・本島 新司 90(1)

〈気管支喘息・COPD の慢性期コントロール〉

気管支喘息・COPD の治療に用いられる薬剤とその
使い方

……上川路和人・舩 博晃・井上 博雅 94(1)

気管支喘息の慢性期治療 ……横山 彰仁 98(1)

難治性喘息への対応 ……浅野浩一郎 102(1)

COPD 慢性期治療

……桂田 直子・西村 善博 106(1)

〈気管支喘息・COPD の増悪への対応〉

気管支喘息急性増悪への対応 ……丸毛 聡 110(1)

COPD 増悪への対応

……室 繁郎・高橋 珠紀 116(1)

〈気管支喘息・COPD の非薬物治療〉

ワクチン ……永井 英明 119(1)

禁煙 ……吉井 千春 122(1)

COPD と日常活動性

……浅井 一久・渡辺 徹也・平田 一人 126(1)

気管支喘息に対するサーモプラスチック

……杉山 温人 130(1)

COPD に対する気管支鏡的治療

……峯下 昌道 134(1)

COPD に対する肺移植

……大谷 真二・大藤 剛宏 138(1)

〈気管支喘息・COPD のコントロールバシー〉

喘息と COPD のオーバーラップ

(asthma・COPD overlap: ACO)

……権 寧博・橋本 修 140(1)

COPD での吸入ステロイド(ICS)の位置づけ

……井上 純人・五十嵐 朗・柴田 陽光 145(1)

■ デキる内科医の神経内科コンサルト

〈座談会〉

神経内科コンサルトについて思うこと

内科と神経内科の立場から

……河合 真・立松 充好・三枝 隆博 184(2)

〈救急外来, 急性期入院病棟からのコンサルト〉

意識障害 ……吉田 剛・野寺 裕之 190(2)

頭痛 ……古川 宗磨・伊藤 泰広 195(2)

めまい ……三枝 隆博 201(2)

失語, 構音障害

……菅原恵梨子・工藤 洋祐・

中溝 知樹・城倉 健 206(2)

片麻痺……………	宇高不可思・西中 和人	211(2)
対麻痺……………	織田 雅也・和泉 唯信	216(2)
歩行障害・ふらつき……………	大石 直也	222(2)
てんかん発作……………	神 一敬	226(2)
嚥下障害……………	松本慎二郎・亀山 隆	229(2)
感覚障害……………	服部 学・小鹿 幸生	236(2)
せん妄……………	小栗 卓也・湯浅 浩之	241(2)
複視……………	松本 瑞樹・山下 博史	248(2)
視野障害, 視力障害……………	尾崎 彰彦	252(2)
不随意運動……………	瓦井 俊孝	258(2)
高次脳機能障害……………	植村 健吾	263(2)
心因性・非器質性障害……………	福武 敏夫	269(2)
〈入院病棟からのコンサルト〉		
髄膜炎, 脳炎……………	安藤 孝志・勝野 雅央	273(2)
Guillain-Barré 症候群		
……川崎 照晃・岡 伸幸・秋口 一郎		280(2)
認知症……………	久堀 保	285(2)
脳梗塞, 脳出血(慢性期)……………	大谷 良	290(2)
〈外来からのコンサルト〉		
末梢神経障害(ニューロパシー)		
……川本 未知・幸原 伸夫		294(2)
多発性硬化症		
……鈴木 鮎子・植木 美乃・松川 則之		300(2)
重症筋無力症……………	近藤 直英	305(2)
Parkinson 病, Parkinson 症候群		
……高橋 牧郎		309(2)
神経筋疾患……………	原田 陽平	314(2)
脊髄障害		
……安藤 哲朗・平賀 経太・川上 治		318(2)
睡眠関連疾患……………	谷口浩一郎	323(2)

■ クリニカル・クエスチョンで学ぶ—循環器薬の使い方

〈対 談〉

総合内科医が悩む薬の使用法 その1—抗不整脈薬編	
……平岡 栄治・村川 裕二	362(3)

総合内科医が悩む薬の使用法 その2—抗血栓薬編	
……平岡 栄治・中川 義久	502(3)

〈冠動脈疾患患者に使用する薬〉

【抗狭心症薬】

安定虚血性心疾患患者に硝酸薬やニコランジルなどは常に必要ですか？……………	永井 利幸	370(3)
---------------------------------------	-------	--------

【抗動脈硬化薬】

スタチンに心筋梗塞の一次予防効果はありますか？……………	濱田 治	376(3)
------------------------------	------	--------

二次予防では常にスタチンは必要ですか？すでにLDL-C が低くても開始したほうがよいですか？……………	有好 信博	382(3)
---	-------	--------

スタチンを開始して筋症状が出現したらどのスタチンも投与は禁忌ですか？……………	森 寛行	387(3)
---	------	--------

非スタチン脂質異常治療薬には何がありますか？どういう時に使いますか？……………	金澤 健司	390(3)
---	-------	--------

新しい脂質異常症治療薬：PCSK9 阻害薬について教えてください……………	西尾 亮	394(3)
---------------------------------------	------	--------

フィブラート系薬剤：高中性脂肪血症は心血管イベントのリスクになりますか？……………	杉崎陽一郎	398(3)
---	-------	--------

【抗血栓薬】

冠動脈疾患に対する抗血小板薬2剤併用療法(DAPT)について, 最新の知見を教えてください……………	上月 周	402(3)
--	------	--------

心房細動患者の冠動脈疾患に対しステント留置した場合に, DAPT と抗凝固薬の3剤併用となりますが, ずっと3剤服薬を続けるべきですか？……………	猪原 拓・香坂 俊	407(3)
---	-----------	--------

合に、DAPTと抗凝固薬の3剤併用となりますが、
ずっと3剤服薬を続けるべきですか？

収縮能が保持された心不全(HFpEF)の治療はどうすればよいですか？……………	河野 裕之・北井 豪	418(3)
---	------------	--------

肥大型心筋症の治療薬では無症状でも何か薬を開始したほうがよいですか？有症状の時はどうしたらよいですか？……………	望月 泰秀	424(3)
--	-------	--------

急性心不全でループ利尿薬の反応が乏しい時, どうしたらよいですか？……………	内藤 貴基	428(3)
--	-------	--------

心不全のうっ血治療において, トルバプタンはフロセミドより良い薬ですか？実際に心不全や腎機能の予後が改善しますか？……………	赤井 靖宏	433(3)
--	-------	--------

たほうがよいですか？ 有症状の時はどうしたらよいですか？……………望月 泰希 424(3)	
---	--

心房細動では抗不整脈薬やアブレーションでリズムコントロールしたほうがよいですか？……………	藤原 竜童	441(3)
---	-------	--------

心房細動では抗凝固薬(ワルファリン, NOAC)をどう使い分けたらよいですか？……………	尾崎 功治・伊藤 大樹	446(3)
--	-------------	--------

心房細動のレートコントロールについて教えてください……………	高見 充	452(3)
--------------------------------	------	--------

急に始まった動悸で救急外来を受診した患者がQRS幅の狭いリズム整の頻脈でした, どうしたらよいですか？……………	里見 和浩	456(3)
--	-------	--------

動悸を主訴に救急外来を受診した患者が幅の広いリズム整の頻脈でした, どうしたらよいですか？……………	寺澤 無量・西原 崇創	460(3)
--	-------------	--------

コントロールしたほうがよいですか？

…………… 藤原 竜彦 441(3)

〈人工弁患者に使用する薬〉

人工弁患者は常に抗凝固薬が必要ですか？ NOAC を使用してもよいですか？……野口 将彦 468(3)

〈静脈血栓塞栓症患者に使用する薬〉

静脈血栓塞栓症の抗凝固療法では、ヘパリン以外に DOAC やフォンダパリスクスを使うと聞きました。どう使い分けたらよいですか？

……小島 俊輔・小船井光太郎 472(3)

〈心臓疾患患者に使用する薬〉

心膜炎の治療でコルヒチンのエビデンスが示されましたが実際に投与したほうがよいですか？

……津田 大輔・森 俊平・平田 健一 476(3)

〈心血管疾患予防薬〉

【糖尿病】

メトホルミン、SU 薬、チアゾリジン、インスリンは心血管イベントを減らしますか？

……荒井 隆志・原 賢太 481(3)

SGLT2 阻害薬、GLP-1 アナログ、DPP-4 阻害薬は心血管イベントを減らしますか？

……大嶋 洋佑・目黒 周 484(3)

【高血圧症】

治療抵抗性高血圧の治療はどうすればよいでしょうか？……河原崎宏雄 488(3)

高血圧の治療目標値がガイドラインによって違います。どうしたらよいですか？……宮内 隆政 492(3)

【コラム】

アスピリンに心血管疾患の一次予防効果はありますか？……家 研也 499(3)

■ 明日のために解くべし！ 総合内科問題集

〈座談会〉

自分はこうやっている、日々の訓練

……志水 太郎・黄 世捷・岩山 隆憲・越智紳一郎 542(5)

〈症例問題〉

70 歳の女性。敗血症性ショック

……藤井健一郎・植西 憲達 553(5)

40 歳の男性。3 週間前から発熱・頭痛・咽頭痛があり、意識障害で救急搬送された

……篠原 浩・忽那 賢志 556(5)

73 歳の男性。悪寒戦慄、発熱

……守山 祐樹・忽那 賢志 559(5)

79 歳の男性。発熱、悪寒戦慄、尿混濁

……矢吹 拓 561(5)

78 歳の男性。全身倦怠感……樋口 敬和 565(5)

68 歳の男性。倦怠感、食欲不振、ふらつき

……堀之内秀仁 567(5)

65 歳の男性。倦怠感、便回数増加

……堀之内秀仁 569(5)

80 歳の女性。意識障害にて救急搬送された

……野々垣浩二 571(5)

84 歳の女性。急性の意識レベル低下をきたして救急搬送された……若林 禎正 573(5)

78 歳の女性。右側頭部痛、左不全片麻痺……北浦 剛・忽那 賢志 575(5)

89 歳の女性。発熱、両側頭部痛……多賀谷知輝・高杉 浩司・藤田 芳郎 577(5)

40 歳の女性。長引く頭痛、嘔気、光過敏……吉田 健二・井口 正寛 579(5)

8 カ月の女児。眼振、両目の中に白いものが目立つ……日馬 由貴・忽那 賢志 581(5)

73 歳の女性。耳鼻咽喉科で非 Hodgkin リンパ腫と診断され内科にコンサルトされた

……樋口 敬和 583(5)

80 歳の女性。心不全の増悪……若林 禎正 586(5)

27 歳の女性。動悸……田上 哲也 589(5)

51 歳の女性。めまい、動悸……池田裕美枝 591(5)

70 歳の女性。労作時息切れ、下腿浮腫……若林 禎正 594(5)

75 歳の男性。急性呼吸不全……藤井健一郎・植西 憲達 597(5)

43 歳の女性。胸が重苦しい……若林 禎正 600(5)

70 歳の男性。呼吸困難、気分不良……後藤 縁・岩田 充永 603(5)

80 歳の男性。左側胸部痛、血痰……皿谷 健 606(5)

60 歳の男性。6 カ月前から続く咳嗽……皿谷 健 609(5)

72 歳の男性。労作時息切れ、湿性咳嗽……皿谷 健 612(5)

70 歳の男性。人工呼吸器アラームが鳴り続けている……藤井健一郎・植西 憲達 615(5)

82 歳の女性。改善の乏しい肺炎様の胸部異常陰影……堀之内秀仁 617(5)

58 歳の男性。顔面の紅斑、咳嗽……皿谷 健 619(5)

53 歳の女性。心窩部痛、嘔吐、体重減少……野々垣浩二 621(5)

29 歳の女性。右季肋部痛……池田裕美枝 623(5)

60 歳の女性。食思不振、嘔気……藤田 明里・志水 英明 625(5)

19 歳の女性。脱毛、体重減少、下痢、肝機能障害……野々垣浩二 629(5)

60 歳の女性。PET で顎下腺、腭体部に集積を認め腫瘍疑いで紹介受診となった

……野々垣浩二 631(5)

58 歳の男性。腎機能障害と蛋白尿の精査目的……志水 英明 633(5)

80 歳の女性。下血、発熱……志水 英明 635(5)

71 歳の男性。腰背部の疼痛……樋口 敬和 638(5)

51歳の男性。腰痛の増悪 ……中村 嘉宏・高杉 浩司・藤田 芳郎	641(5)
90歳の女性。両肩痛、大腿部の張り、両顎痛、右眼が見えにくい ……渡邊 剛史・高杉 浩司・藤田 芳郎	643(5)
50歳の女性。左手のしびれ ……吉田 健二・井口 正寛	645(5)
55歳の男性。両手が引きつる痛み、前腕脱力、左下腿のしびれ ……志水 英明	647(5)
82歳の女性。筋肉の痛み、皮疹 ……山本 真理・高杉 浩司・藤田 芳郎	651(5)
68歳の女性。吃逆、四肢麻痺 ……吉田 健二・井口 正寛	653(5)
28歳の女性。発熱、異常言動、意識障害 ……吉田 健二・井口 正寛	655(5)
20歳の女性。小児科から transition の依頼を受けた ……清田 雅智	657(5)
36歳の女性。妊娠希望 ……池田裕美枝・後藤美賀子	659(5)
50歳の男性。低カリウム血症……田上 哲也	663(5)
51歳の女性。術前血糖コントロール目的 ……清田 雅智	665(5)
54歳の女性。耐糖能障害を指摘された ……田上 哲也	667(5)
50歳の男性。アミトリプチリン多量服用 ……宇藤 薫	669(5)
45歳の男性。炭酸リチウム数十錠内服後の痙攣、意識障害 ……宇藤 薫	671(5)
24歳の男性。気分の落ち込み……松崎 朝樹	673(5)
24歳の男性。気分の落ち込み、不眠 ……松崎 朝樹	675(5)
42歳の男性。不安の発作、不眠 ……松崎 朝樹	677(5)
89歳の男性。最近ふらついて転倒することが多い ……矢吹 拓	679(5)
87歳の男性。トイレの前で倒れているところを発見された……後藤 緑・岩田 充永	681(5)
75歳の女性。倒れた状態で動けない、肩・足の痛み ……後藤 緑・岩田 充永	683(5)
45歳の女性。痣(内出血)がしやすい ……田上 哲也	685(5)
65歳の女性。顔面の皮疹……安部 正敏	687(5)
68歳の男性。全身の皮疹……安部 正敏	689(5)
62歳の女性。前腕の皮疹……安部 正敏	693(5)
85歳の女性。手足・体幹の痒痒感と発疹 ……矢吹 拓	697(5)
83歳の女性。大腿骨頸部骨折……三浦 久幸	699(5)
85歳の女性。長男が母親の認知症への対応について相談するため来院……三浦 久幸	701(5)

〈生涯教育 revisited—獨協総診式・総合内科勉強法〉	
ベッドサイドティーチング・教育回診 ……	廣澤 孝信 704(5)
ジャーナルアップデート……	森永 康平 708(5)
診断的クリニカルクエストの検索法 ……	原田 侑典 711(5)
教育カンファレンスの仕方……	原田 拓 714(5)
振り返り・フィードバック……	任 理宏 718(5)
生涯学習としてのポートフォリオ ……	榎原 剛 721(5)
ケースレポートの勉強法……	高瀬 啓至 724(5)
明日から生きる、ワンポイント集……	728(5)

■フロブレンから学ぶ感染症診療—すぐに役立つ厳選シナリオ 30 選

〈対 談〉	
いかに学び、いかに教えるか ……	矢野 晴美・阿部 幸恵 760(6)
〈発熱+αの症状から診断する〉	
発熱と頭痛……	鈴木 潤・笹原 鉄平 769(6)
発熱と胸痛……	林 良典・岡 秀昭 772(6)
発熱と腹痛……	本田 仁 776(6)
発熱と腰痛……	谷口 俊文 780(6)
発熱と関節痛……	武田 孝一 784(6)
発熱と皮疹……	成田 雅 788(6)
〈発熱+状況から診断する〉	
発熱：市中感染……	小林真一郎 793(6)
発熱：入院患者……	松尾 貴公・森 信好 797(6)
発熱：免疫不全者……	名取洋一郎 801(6)
発熱：熱傷……	牧野 淳 805(6)
発熱：手術後……	櫻井 亜樹 809(6)
〈症候から診断する〉	
意識障害……	横田 恭子 816(6)
低体温……	北野 夕佳 820(6)
高血糖……	林 良典・上原 由紀 825(6)
低血糖……	藤谷 好弘 830(6)
体重減少……	松林 沙知・森野英里子 835(6)
倦怠感……	瀧澤美代子 840(6)
頭痛……	比嘉 哲史・金城 光代 845(6)
呼吸困難……	大場雄一郎 850(6)
食欲低下……	梶 有貴 855(6)
下痢……	水澤 昌子 860(6)
四肢の激痛……	兒子 真之 865(6)
転倒……	狩野 恵彦 869(6)
動けない(高齢者) ……	
……	河口謙二郎・関口 健二 874(6)
〈病歴から診断する〉	
アジアへの渡航歴 ……長谷部圭亮・中村 朗・矢野 晴美 880(6)	
アフリカへの渡航歴	

……………高橋 佑輔・矢野 晴美	885(6)
南米への渡航歴…………北浦 慧・岡本 耕	891(6)
淡水への曝露歴……………児玉 文宏	897(6)
海水への曝露歴……………福地 貴彦	901(6)
ネコによる咬傷……………村中絵美里	906(6)

■ここさえ分かれば—輸液・水・電解質

〈座談会〉

水・電解質はどう学ぶ？

……長浜 正彦・門川 俊明・赤井 靖宏	952(7)
---------------------	--------

〈体液調節〉

体液調節の基本……………長浜 正彦	960(7)
体液量の評価……………長浜 正彦	964(7)
輸液……………谷澤 雅彦	968(7)
利尿薬抵抗性…………大迫希代美・今井 直彦	976(7)

〈代謝性酸塩基平衡〉

酸塩基平衡の基本……………長浜 正彦	982(7)
代謝性アシドーシス……………廣瀬 知人	986(7)
代謝性アルカローシス……………安田 隆	992(7)

〈尿量・尿電解質〉

尿量・尿電解質の基本……………長浜 正彦	998(7)
尿と電解質……………志水 英明	1004(7)
尿と酸塩基平衡……………藤丸 拓也	1010(7)

〈カリウム異常症〉

カリウム異常症の基本……………和田 健彦	1014(7)
TTKG(transtubular K gradient)は有用か？	

……………門川 俊明	1020(7)
------------	---------

カリウム異常症の「ここさえ分かれば」

……………高杉 浩司	1024(7)
------------	---------

〈ナトリウム異常症〉

ナトリウム異常症の基本……………伊藤 雄伍	1030(7)
低ナトリウム血症と尿ナトリウム濃度	

……………孫 楽・長浜 正彦	1036(7)
----------------	---------

ナトリウム異常症の「ここさえ分かれば」

……………赤井 靖宏	1040(7)
------------	---------

〈カルシウム、リン、マグネシウム異常症〉

カルシウム、リン、マグネシウム異常症の基本

……………藤田 芳郎	1044(7)
------------	---------

カルシウム、リン異常症……………駒場 大峰	1048(7)
-----------------------	---------

マグネシウム異常症……………龍華 章裕	1054(7)
---------------------	---------

〈特殊な状況(各論)〉

敗血症の電解質異常と輸液療法

……………富田 弘道	1060(7)
------------	---------

心不全の電解質異常と輸液療法

……………岡本 岳史・柴垣 有吾	1064(7)
------------------	---------

熱中症の電解質異常と輸液療法

……………三宅 康史	1070(7)
------------	---------

〈輸液・水・電解質の controversy〉

急性腎障害に対して利尿薬は有効か？

……………Pros：宇仁 理恵・土井 研人	
-----------------------	--

Cons：白井 泉	1078(7)
ネフローゼ症候群に対して「アルブミン+フロセミド」は有効か？	

……………Pros：三浦健一郎・服部 元史	
-----------------------	--

Cons：竹本 文美	1084(7)
------------	---------

■血液疾患を見逃さないために—プライマリ・ケアと専門医コンサルトのタイミング

〈座談会〉

総合内科医と血液内科医とのクロストーク

……丸山 大・東 光久・笠原 千嗣	1136(8)
-------------------	---------

〈血液疾患患者に対する一般診療上の注意点〉

感冒症状で受診したら

……………田村 志宣・蒸野 寿紀	1144(8)
------------------	---------

生活習慣病に対するフォローを依頼されたら

……………大橋 健	1148(8)
-----------	---------

治療終了後のフォローアップを依頼されたら

……………小林 匡洋・福原 規子	1152(8)
------------------	---------

HBV 再活性化に関する注意点……………楠本 茂 1156(8) |

侵襲的処置を依頼されたら……………崔 日承 1162(8) |

救急外来を受診したら……………山内 寛彦 1166(8) |

臨床試験や治験に参加している患者の一般診療を

依頼されたら……………八田 俊介・蒔田 真一	1170(8)
------------------------	---------

緩和医療・在宅診療を依頼されたら

……………田上 恵太	1176(8)
------------	---------

〈血液疾患を疑う症候・病変の診かたと紹介のタイミング〉

リンパ節腫脹……………伊藤 勇太・棟方 理	1180(8)
-----------------------	---------

眼窩病変……………鈴木 茂伸	1186(8)
----------------	---------

鼻腔病変……………宮崎 香奈	1190(8)
----------------	---------

甲状腺病変……………頼 晋也	1194(8)
----------------	---------

乳腺病変……………福原 傑	1198(8)
---------------	---------

胃病変・腸管病変

……森 正和・岡元 宣人・西原 利治	1202(8)
--------------------	---------

骨病変、病的骨折……………皆内康一郎	1206(8)
--------------------	---------

皮膚病変……………神山祐太郎	1210(8)
----------------	---------

〈さまざまな症候・画像所見の診かた・考え方と紹介のタイミング〉

発熱……………冲中 敬二	1214(8)
--------------	---------

出血傾向・血栓傾向

……………原田 佳代・池添 隆之	1218(8)
------------------	---------

血液内科領域における FDG-PET での異常所見

……………有坂有紀子・寺内 隆司	1222(8)
------------------	---------

〈血液検査値異常の考え方と紹介のタイミング〉

白血球数・白血球分画異常……………古林 勉	1226(8)
-----------------------	---------

赤血球数異常……………小笠原洋治	1230(8)
------------------	---------

血小板数異常……………富山 佳昭	1234(8)
------------------	---------

汎血球減少……………住谷智恵子・清水 隆之	1238(8)
-----------------------	---------

凝固異常……………半下石 明	1242(8)
----------------	---------

血清・尿蛋白異常、免疫グロブリン値異常

……………多林 孝之 1246(8)
抗 HTLV-1 抗体陽性……………野坂 生郷 1250(8)

■もっともっとフィジカル！—黒帯級の技とパール (座談会)

Physical examination forever!!

……………徳田 安春・上野 征夫・
……………沢山 俊民・池田 正行 1308(9)

〈循環器系の症候〉

不整脈の診かた—五感診療の勧め

……………沢山 俊民 1317(9)

この心不全、右または左？

……………庄司 聡・香坂 俊 1322(9)

収縮期雑音—聴取する領域が命！

……………服部 智貴・水野 篤 1328(9)

拡張期の雑音が聴こえるとき……………安 隆則 1334(9)

感染性心内膜炎を疑うとき……………志水 太郎 1339(9)

ショックを疑うとき……………平島 修 1344(9)

〈呼吸器系の症候〉

喫煙者とその肺病変を見抜く……………山城 信 1350(9)

この肺炎、定型？ 非定型？……………喜舎場朝雄 1357(9)

〈消化器系の症候〉

急性腹症のフィジカル

……………窪田 忠夫・町 淳二 1362(9)

虫垂炎診断の knack & pitfalls……………椋山 和寛 1367(9)

肝疾患の“一歩進んだ”身体所見

……………片平 雅大・中路 聡・小林 健二 1372(9)

炎症性腸疾患を疑うとき

……………丸山 友希・猿田 雅之 1378(9)

〈内分泌代謝系の症候〉

糖尿病の合併症を見抜く

……………北村 文也・藤田 芳郎 1383(9)

甲状腺機能は亢進しているのか？

……………立花 早人・仲里 信彦 1388(9)

甲状腺機能低下症のフィジカル

……………山田 大志・佐藤 健太 1392(9)

副腎機能は低下しているのか？

……………宇藤 薫 1396(9)

財布生検の実際……………片岡 仁美 1401(9)

テタニーの診かた……………稲福 徹也 1404(9)

〈皮膚・粘膜の症候〉

「全身が紅い」とき、その核心を探せ！—感染症を中

心に……………成田 雅 1408(9)

紅斑を診た時に—非感染症を中心に

……………檜垣 恵・松山 孝・上野 征夫 1414(9)

紫斑の診かた……………塚本 亮介・岩田 充永 1420(9)

貧血を疑うとき……………野溝 崇史・和足 孝之 1424(9)

〈筋骨格関節系の症候〉

本当にリウマチ性多発筋痛症？

……………比嘉 哲史・金城 光代 1428(9)

脊椎関節炎の原因は？

……………山下 諒・綿貫 聡 1434(9)

〈神経系の症候〉

どこから来てるの、あなたのしびれは？

……………上田 剛士 1442(9)

筋力低下の部位診断……………西垂水和隆 1448(9)

Parkinson 病を疑うとき……………塩尻 俊明 1456(9)

歩行障害があるとき……………山中 克郎 1460(9)

構音障害の診察……………小野 正博 1465(9)

■クリティカル・ケアを極める—一歩進んだ総合内 科医を目指して

〈座談会〉

重症内科症例に対応できるためには

……………岩田 充永・北野 夕佳・

……………則末 泰博・神宮司成弘 1516(10)

〈内科クリティカル・ケア実践編 このパターンを押
さえれば 8 割は対応可能〉

てんかん重積状態の対応

……………安藤 宏明・丹羽 淳一・道勇 学 1523(10)

脳炎の対応……………安藤 孝志・勝野 雅央 1528(10)

特異的治療のある急性呼吸窮迫症候群 (ARDS) の

原因……………黒田 浩一 1536(10)

重篤な気管支喘息重積発作と COPD 急性増悪の

対応……………谷 直樹 1542(10)

心原性ショックの対応……………若林 禎正 1546(10)

重篤病態に合併した急性冠症候群 (ACS) の管理

……………松尾裕一郎・平岡 栄治 1552(10)

急性腎障害 (AKI) の対応……………田川 美穂 1556(10)

緊急性の高い内分泌疾患の早期診断

……………竹内 元規 1560(10)

高血糖緊急症のマネジメント……………上田 剛士 1566(10)

重篤な低ナトリウム血症のマネジメント

……………植西 憲達 1570(10)

重篤なカリウム異常の対応……………丹羽 俊輔 1576(10)

消化管出血による出血性ショックのマネジメント

……………北野 夕佳 1582(10)

重症病態に合併する血小板減少のアプローチ

……………高岸 勝繁 1590(10)

重症病態に合併する腸管虚血の早期発見

……………三反田拓志・則末 泰博 1596(10)

敗血症性ショックのマネジメント

……………小松 孝行 1602(10)

深在性真菌感染の考え方……………雨宮 哲郎 1606(10)

壊死性筋膜炎の早期診断……………伊藤 亮太 1610(10)

内科医が診る急性薬物中毒……………都築誠一郎 1614(10)

〈内科クリティカル・ケア知っておくべき知識・技術
をまとめる 重症にはこれを武器に立ち向かう〉

重症管理のカルテ記載

……………金光 陽子・藤谷 茂樹 1618(10)

適切な鎮痛・鎮静…窪田 佳史・讃井 将満	1623(10)
モニタリング…辻坂 勇太・北井 豪	1628(10)
輸液・血液製剤・輸血の管理と合併症対応	
……………塩田 修玄・重光 秀信	1632(10)
急性呼吸窮迫症候群(ARDS)における人工呼吸器	
管理で最低限求められること	
……………岩永 航・則末 泰博	1638(10)
経鼻高流量酸素療法(HFNC)・非侵襲的換気(NIV)	
の活用と使い分け……………神宮司成弘	1644(10)
腎代替療法(RRT)の適切な導入と選択	
……………稲熊 大城	1648(10)
重症病態の栄養管理と血糖管理	
……………鈴木 秀鷹・安田 英人	1652(10)
重症管理中の合併症予防	
……………畠山 淳司・武居 哲洋	1658(10)
PICS(post intensive care syndrome)予防の実践	
……………鈴木 秀鷹・安田 英人	1662(10)
重症病態の常用薬管理……………藤井健一郎	1668(10)

■ どんとこい！ 内科医が支える—エンド・オブ・ライフ

〈座談会〉

エンド・オブ・ライフケアこれからの医療者に求められること

…… 柏木 秀行・有賀 悦子・平原佐斗司 1716(11)

〈エンド・オブ・ライフを支える身体症状への対応〉

痛み……………田上 恵太 1724(11)

呼吸困難・咳嗽……………大屋 清文 1732(11)

便秘・消化管閉塞・腹水……………江川健一郎 1736(11)

悪液質・栄養……………神谷 浩平 1744(11)

在宅(自宅・施設)での症状緩和

……………河原 正典 1748(11)

〈エンド・オブ・ライフを支える精神・心理・スピリチュアリティへの対応〉

不眠……………天津 透彦 1752(11)

うつ病・適応障害……………小川 朝生 1756(11)

不安……………木附 康 1760(11)

スピリチュアルな苦痛……………藤澤 大介 1762(11)

〈臨死期の対応〉

終末期のせん妄……………山川 宣 1766(11)

死前喘鳴……………松本弥一郎 1770(11)

緩和的鎮静……………橋本 法修 1774(11)

看取り……………田中 雅之 1778(11)

〈エンド・オブ・ライフを支えるための疾患の知識〉

予後予測とその役割—悪性疾患を中心に

……………小杉 和博 1782(11)

可逆性の判断……………世戸 博之 1788(11)

がん……………石山 雄太 1792(11)

心不全……………大森 崇史 1796(11)

慢性呼吸器疾患……………鶴野 広介・飛野 和則 1800(11)

肝不全・腎不全…松尾裕一郎・坂井 正弘	1806(11)
神経難病……………徳田 英弘	1812(11)
高齢者の衰弱/認知症……………山口 健也	1817(11)
突然の死別……………安藤 裕貴	1820(11)
〈エンド・オブ・ライフを支える支援のスキル〉	
コミュニケーションスキル……………木村 衣里	1824(11)
アドバンス・ケア・プランニング	
……………岡村 知直	1828(11)

療養の場について検討する……………廣橋 猛 1832(11)

家族ケア……………宮崎万友子 1836(11)

ビリーブメント……………坂口 幸弘 1840(11)

倫理的な問題……………吉野かえで・平岡 栄治 1844(11)

医療者のセルフケア……………樋口 雅也 1848(11)

【Column】

わが国の緩和医療専門医制度について

……………坂下 明大 1851(11)

内科医とエンド・オブ・ライフケア

……………小田 浩之 1852(11)

■ 内科医のための「ちょいあて」エコー—POCUS のススメ

〈座談会〉

さあ、エコーを始めよう！—point of care 超音波のススメ

…… 鈴木 昭広・白石 吉彦・亀田 徹 1898(12)

〈基本事項〉

「ちょいあて」前に—エコーの準備と使い方

……………西田 陸 1906(12)

超音波検査と感染制御

……………鯉渕 晴美・谷口 信行 1913(12)

〈超音波による ABCD 生理学的アプローチ〉

A：気道のエコー…浅野 健吾・鈴木 昭広 1920(12)

B：肺エコー(気胸)……………谷口 隼人 1925(12)

B：肺エコー(sonographic interstitial syndrome)

……………山田 直人 1932(12)

B：肺エコー(胸水、横隔膜)……………下薗 崇宏 1937(12)

C：お手軽心エコー FATE……………吉田 拓生 1944(12)

D：transcranial color flow imaging(TC-CFI)

……………藤本 佳久 1949(12)

蘇生におけるエコー活用：CASA

……………船富 裕之・佐藤 仁思 1956(12)

「ちょいあて」エコーでショックを診断！—RUSH

エコーで素早くショックの原因を見極める！

……………瀬良 誠 1963(12)

〈頸部エコー〉

頸部のスクリーニング……………古川まどか 1970(12)

〈皮膚体表エコー〉

皮膚科エコー(しこりなど)

……………清島真理子・渡邊 恒夫 1978(12)

褥瘡(DTI)エコー……………藪中 幸一・真田 弘美 1984(12)

〈腹部エコー〉	
FAST プロトコール	
……金井 克樹・石田 亮介	1989(12)
肝胆脾の見かた	小川 真広 1995(12)
消化管の見かた	
…… 畠 二郎・今村 祐志・眞部 紀明	2004(12)
泌尿器の救急エコー	千葉 裕 2011(12)
「ちょいあて」エコー 産婦人科救急編	
……柴田 綾子	2019(12)
小児の腹痛	野中 航仁・市橋 光 2024(12)
〈血管エコー〉	
頸動脈エコー	渡邊 至 2030(12)
下肢静脈血栓の簡易スクリーニング—2点圧迫法	
……兄玉 貴光・太田 智行	2036(12)
下大静脈評価の最前線	
……伊藤亜紗実・川本 英嗣・今井 寛	2041(12)
腹部の動脈	松本 敬 2047(12)
〈運動器エコー〉	
肋骨・胸骨骨折	小淵 岳恒 2053(12)
腰痛	並木 宏文 2058(12)
肩こり・肩痛	多田 明良・白石 吉彦 2067(12)
〈超音波ガイド下インターベンション〉	
ここまでできる 超音波ガイド下中心静脈穿刺	
……丹保亜希仁	2074(12)
超音波ガイド下血管確保	五十嵐浩太郎 2082(12)
エコーガイド下 hydrorelease の基本コンセプトと	
実際	白石 吉彦 2090(12)
■ これからの心不全診療への最新アプローチ—予防からチーム医療・先進医療まで	
〈座談会〉	
心不全パンデミックが避けられない今、克服すべき課題は？	
……佐藤 幸人・坂田 泰史・林 亜希子	2144(13)
〈心不全の病態，危険因子と予防〉	
心不全とは？—その機序と血行動態の破綻	
……大西 勝也	2152(13)
心不全の疫学と医学的・社会的危険因子	
……加藤 貴雄	2156(13)
心不全予防としての高血圧治療，糖尿病などの危険因子	
……勝谷 友宏	2160(13)
〈急性期から慢性期へ，連続したチーム医療〉	
認定看護師を中心としたチーム医療	
……鷺田 幸一	2166(13)
心臓リハビリテーションを中心としたチーム医療	
……神谷健太郎	2170(13)
栄養を中心としたチーム医療	衣笠 良治 2174(13)
在宅医を中心としたチーム医療	田中 宏和 2178(13)
〈診断〉	
うっ血性心不全の身体所見の重要性	

……庄司 聡・香坂 俊	2182(13)
BNP・NT-proBNP	久保 亨 2186(13)
心エコー	岡田 厚・泉 知里 2190(13)
〈治療〉	
●慢性心不全	
【収縮能が低下している心不全(HFrEF)】	
β遮断薬	絹川弘一郎 2194(13)
アンジオテンシン変換酵素(ACE)阻害薬・アンジオ	
テンシンⅡ受容体拮抗薬(ARB)	
……中村 一文・小倉聡一郎	2198(13)
利尿薬	末永 祐哉 2202(13)
ジギタリス	小笹 寧子 2206(13)
両室ペーシング	南口 仁 2210(13)
【収縮能が保持されている心不全(HFpEF)】	
収縮能が保持されている心不全(HFpEF)の治療	
……絹川真太郎	2216(13)
●不整脈合併心不全	
心房細動と抗凝固療法	
……八木 直治・山下 武志	2220(13)
心房細動，心室性不整脈のアブレーション	
……野田 崇	2224(13)
植込型除細動器(ICD)—致死性不整脈合併時の	
ICDの適応とその合併症	鈴木 誠 2230(13)
●急性心不全	
救急室でのトリアージ—初期対応とクリニカルシナ	
リオ，Nohria-Stevenson 分類とは？	
……川瀬 裕一・多田 毅・門田 一繁	2234(13)
点滴強心薬—ノルアドレナリン，ドパミン，ドブタミン，	
ホスホジエステラーゼ(PDE)阻害薬	
……長央 和也	2238(13)
血管拡張薬—硝酸薬，ニコランジル，カルペリチド	
……加藤真真人	2242(13)
非侵襲的陽圧換気療法(NIPPV)	
……横山 広行	2246(13)
〈特殊な治療〉	
大動脈弁狭窄症，機能性僧帽弁閉鎖不全症のカテーテ	
ル治療	中嶋 正貴・松本 崇 2250(13)
心臓移植	塚本 泰正・坂田 泰史 2253(13)
植込型補助人工心臓(VAD)，IMPELLA®	
……肥後 太基	2258(13)
重症心不全に対する再生医療	澤 芳樹 2264(13)
〈人生の最終段階の医療〉	
心不全における緩和ケアの重要性	
……大石 醒悟	2272(13)
緩和ケアと多職種チーム	黒住 祐磨 2276(13)
人生最終段階における薬剤使用の実際	
……菅野 康夫	2282(13)

【フィジカルクラブ presents
—これって〇〇サイン!?】

嘔吐を繰り返して救急搬入された 70 代男性	平島 修	1(1)
転落して左肩を強打した 60 代男性	平島 修	177(2)
昨晚からの左眼の視力低下を訴える 60 代女性	平島 修	355(3)

【目でみるトレーニング】

問題 862	佐藤 克哉	154(1)
問題 863	十倉 満	155(1)
問題 864	窪田 哲也	156(1)
問題 865	岩崎 靖	335(2)
問題 866	梶原 祐策	336(2)
問題 867	後藤 聖司	337(2)
問題 868	十倉 満	514(3)
問題 869	梶原 祐策	515(3)
問題 870	窪田 哲也	516(3)
問題 871	岩崎 靖	742(5)
問題 872	佐々尾 航	743(5)
問題 873	山田 大志・佐藤 健太	744(5)
問題 874	樋口 智也	925(6)
問題 875	十倉 満	926(6)
問題 876	窪田 哲也	927(6)
問題 877	脇坂 達郎	1112(7)
問題 878	相澤 義泰	1113(7)
問題 879	岩崎 靖	1114(7)
問題 880	萩原将太郎	1278(8)
問題 881	金澤 健司	1279(8)
問題 882	武井 康悦	1281(8)
問題 883	相澤 義泰	1491(9)
問題 884	岩崎 靖	1493(9)
問題 885	脇坂 達郎	1494(9)
問題 886	岩崎 靖	1692(10)
問題 887	池上 幸憲	1693(10)
問題 888	金澤 健司	1694(10)
問題 889	岩崎 靖	1859(11)
問題 890	相澤 義泰	1860(11)
問題 891	萩原将太郎	1861(11)
問題 892	金澤 健司	2110(12)
問題 893	池上 幸憲	2111(12)
問題 894	岩崎 靖	2112(12)
問題 895	萩原将太郎	2304(13)
問題 896	岩波 慶一	2305(13)
問題 897	岩崎 靖	2306(13)

【Inpatient Clinical Reasoning
—米国 Hospitalist の事件簿】

Hamster in a wheel	石山 貴章	161(1)
--------------------	-------	--------

Case Discussion on the Ocean	石山 貴章	332(2)
名探偵になりきれなかった私	石山 貴章	524(3)
どうするも、こうするも	石山 貴章	738(5)
大胆すぎるにも、ほどがある	石山 貴章	921(6)
冬の寒い日に	石山 貴章	1102(7)
Last Case	石山 貴章	1286(8)

【心電図から身体所見を推測する】

心電図から四肢所見を推測する (Parkinson 症候群, ノイズ)	栗田 康生	520(3)
心電図から聴診所見を推測する (弁膜症, 心房中隔欠損症)	栗田 康生	932(6)
胸部 X 線, 心電図から聴診所見を推測する (心不全などの所見)	栗田 康生	1268(8)
心電図から投薬内容を推測する (抗不整脈薬, 利尿薬など)	栗田 康生	2122(12)

【母性内科の「め」

妊婦・授乳婦さんのケアと薬の使い方】

かぜ薬飲んじゃったんですけど、大丈夫ですか?	三島 就子	732(5)
食欲がなくて……食べても吐いてしまいます	三島 就子	916(6)
おなかが痛いんです	三島 就子	1106(7)
痛み止めを飲んででもよいのでしょうか?	三島 就子	1258(8)
食あたりでしょうか	三島 就子	1480(9)
咳がひどくてつらいです	三島 就子	1678(10)

【見て、読んで、実践! 神経ビジュアル診察】

こすり方にもコツがある!! Babinski 徴候	難波 雄亮	753(6)
こっちも試そう!! Chaddock 徴候	難波 雄亮	945(7)
指を弾けばアラ不思議!! Hoffmann 反射・Trömner 反射	難波 雄亮	1129(8)
画像を撮らず障害部位を見つける!! 腱反射のテクニック	難波 雄亮	1301(9)
顎や肩を叩けばアラ不思議!! 頸髄～脳幹の役立つ反射	難波 雄亮	1509(10)
知っているとお得!! 大胸筋反射, 三角筋反射, 大内転筋反射	難波 雄亮	1709(11)
幼い頃はあった反射 原始反射の有用性	難波 雄亮	1889(12)
手のひらを上にして前にならえ!		
いわゆる「Barré 徴候」	難波 雄亮	2137(13)

【物忘れ外来から学ぶ現場のコツ
認知症患者の診かた】

初診時の対応—認知症の主訴は何かが多いですか?		
-------------------------	--	--

.....重松 一生 1094(7)	
認知症以外の薬の内服や治療をスムーズに行うための コツは?.....重松 一生 1264(8)	
Alzheimer 病はどのように診断されますか?	
— 1) 外来での診断のコツ.....重松 一生 1486(9)	
Alzheimer 病はどのように診断されますか?	
— 2) 確定診断.....重松 一生 1684(10)	
Alzheimer 病はどのように治療すればよいですか?	
.....重松 一生 1866(11)	
Lewy 小体型認知症はどのように治療・対応すればよ いでしょうか.....重松 一生 2117(12)	
前頭側頭葉変性症(FTLD) — 1) 行動障害型前側頭葉 認知症(bvFTD)の診かたについて教えてください重松 一生 2300(13)	

【医師のためのビジネススキル】

論理的思考(クリティカル・シンキング)複雑な状況を すっきり整理!.....柏木 秀行 1098(7)	
経営戦略 戦略的な組織運営で目標達成!	
.....橋本 法修 1274(8)	
マーケティング 若手医師に人気のプログラムを 作ろう!.....岡村 知直・佐野 友昭 1476(9)	
人材マネジメント 人材は人財!	
.....橋本 法修・良田 智雄 1688(10)	
アカウンティング(財務会計) お金のことは難しい?	
.....本田 宜久・溝口 聖規 1872(11)	
アカウンティング—管理会計 部門管理に会計知識を 使ってみよう!	
.....柏木 秀行・麻生 隆文 2106(12)	
ビジネス定量分析 医師なら分析できて当たり前!?	
.....柏木 秀行・鈴木 健一 2292(13)	

【ストレスと病気のやさしい内科学

診療の幅が広がる心療内科の小ワザ集】

心療内科の考え方—ストレス関連身体疾患をみるとい うこと.....大武 陽一 2103(12)	
心療内科初診を診てみよう—問診票・病歴仮説の 形成.....大武 陽一 2295(13)	

【増刊号】

■プライマリ・ケアでおさえおきたい重要薬・頻用薬 薬剤名索引.....6(4)	
薬の飲み方・使い方.....伊藤 澄信 24(4)	

抗不安薬・催眠鎮静薬

抗不安薬.....仙波 純一 30(4)	
睡眠薬.....三島 和夫 34(4)	

抗うつ薬・抗精神病薬

セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害薬(SNRI),

ノルアドレナリン作動性・特異的セロトニン作動性
抗うつ薬(NaSSA)

.....稲本 淳子・鈴木 洋久 40(4)	
選択的セロトニン再取り込み阻害薬(SSRI)	
.....鈴木 映二 44(4)	
三環系・四環系抗うつ薬.....伊賀 淳一 48(4)	
抗精神病薬.....岸 泰宏 52(4)	

神経・筋疾患薬

抗てんかん薬

.....高橋 幸利・森岡 景子・大松 泰生 58(4)	
Alzheimer 病治療薬.....重松 一生 64(4)	
Parkinson 病治療薬	
.....大江田知子・梅村 敦史 68(4)	
筋弛緩薬.....目崎 高広 74(4)	
片頭痛治療薬.....柴田 護 78(4)	
抗めまい薬.....船曳 和雄 82(4)	

循環器薬

抗不整脈薬.....鈴木 敦・志賀 剛 88(4)	
ジギタリス, カテコラミン, ホスホジエステラーゼⅢ 阻害薬.....加藤真帆人 96(4)	
ループ利尿薬.....猪又 孝元 101(4)	
サイアザイド系利尿薬	
.....織原 良行・朝倉 正紀・増山 理 104(4)	
カリウム保持性利尿薬	
.....織原 良行・朝倉 正紀・増山 理 106(4)	
パソブレンシン V ₂ 受容体拮抗薬.....田中 寿一 108(4)	
抗狭心症薬.....坂本 二郎・中川 義久 112(4)	
β受容体遮断薬	
.....余西 智香・大谷 朋仁・坂田 泰史 118(4)	
レニン・アンジオテンシン系阻害薬	
.....吉川 勉 122(4)	
カルシウム拮抗薬	
.....的場 哲哉・秋山 雄介・筒井 裕之 126(4)	
抗血小板薬.....上妻 謙 132(4)	
抗凝固薬.....湯澤ひとみ・池田 隆徳 137(4)	
血栓溶解薬.....蒔田 直輝・豊田 一則 142(4)	
肺高血圧症治療薬.....佐藤 徹 146(4)	

呼吸器薬

鎮咳薬.....谷口 浩和 154(4)	
去痰薬.....谷口 浩和 158(4)	
気管支拡張薬.....羽白 高 164(4)	
吸入ステロイド薬	
.....猪又 崇志・大塚 義則・宮本 顕二 170(4)	
吸入ステロイド薬・長時間作用型吸入β刺激薬の合剤	
.....猪又 崇志・大塚 義則・宮本 顕二 174(4)	
抗ヒト IgE モノクローナル抗体	
.....井上 純人 179(4)	

禁煙補助薬	野田 慶太	182(4)
消化器薬		
ヒスタミン H ₂ 受容体拮抗薬		
……………川見 典之・岩切 勝彦		186(4)
プロトンポンプ阻害薬(PPI)……………佐藤 祐一		190(4)
酸中和薬……………内藤 裕二		194(4)
粘膜防御因子増強薬……………黒木優一郎		198(4)
ヘリコバクター・ピロリ除菌薬		
……………井上 和彦		202(4)
胃腸機能調整薬……………北條麻理子・渡辺 純夫		205(4)
大腸刺激性下剤……………木下 芳一・泉 大輔		210(4)
浸透圧性下剤, 上皮機能変容薬		
……………木下 芳一・三代 剛		214(4)
腸管運動抑制・分泌抑制薬		
……………湯川 知洋・藤原 靖弘		217(4)
過敏性腸症候群治療薬……………大和 滋		222(4)
炎症性腸疾患治療薬: 5-ASA 製剤		
……………西尾 昭宏・中村 志郎		226(4)
炎症性腸疾患治療薬: 生物学的製剤		
……………本谷 聡・那須野正尚・田中 浩紀		230(4)
インターフェロン製剤……………黒崎 雅之		234(4)
C 型ウイルス肝炎治療薬……………海老沼浩利		240(4)
B 型ウイルス肝炎治療薬		
……………平石 哲也・奥瀬 千晃・四柳 宏		248(4)
胆汁酸製剤……………矢田 豊		254(4)
高アンモニア血症治療薬……………佐原 圭		258(4)
制吐薬		
……………落合 亮介・本田 健・関 順彦		262(4)
経口抗がん剤, 経口分子標的薬		
……………門倉 玄武・勝俣 範之		268(4)
血液疾患薬		
鉄剤……………岡田 定		274(4)
慢性骨髄性白血病薬		
……………鈴木 智貴・丸山 大		278(4)
代謝・栄養障害薬		
スタチン系製剤(HMG-CoA 還元酵素阻害薬)		
……………澤野 充明		284(4)
フィブラート系製剤		
……………設楽 準・宮内 克己		290(4)
小腸コレステロールトランスポーター阻害薬		
……………増田 大作		294(4)
PCSK9 阻害薬……………小倉 正恒・斯波真理子		298(4)
インスリン製剤……………藤澤 智巳・花房 俊昭		302(4)
ビグアナイド薬……………遠藤 慶・長坂昌一郎		306(4)
DPP-4 阻害薬……………佐川 尚子・寺内 康夫		309(4)
GLP-1 受容体作動薬		
……………窪田 創大・矢部 大介・清野 裕		312(4)

SGLT2 阻害薬……………山辺 瑞穂		316(4)
SU 薬……………大工原裕之		320(4)
α -グルコシダーゼ阻害薬		
……………柿栖奈保子・弘世 貴久		323(4)
痛風関節炎治療薬……………森脇 優司		326(4)
高尿酸血症治療薬……………森脇 優司		329(4)
活性型ビタミン D 製剤……………田井 宣之		334(4)
選択的エストロゲン受容体モジュレーター		
……………寺内 公一		337(4)
ビタミン K 製剤……………福本 誠二		340(4)
副甲状腺ホルモン, ビスホスホネート製剤, 抗 RANKL 抗体……………竹内 靖博		344(4)

内分泌疾患薬

甲状腺ホルモン製剤		
……………河村 優輔・田中 祐司		350(4)
抗甲状腺薬……………渡邊奈津子		353(4)
エストロゲン製剤……………平野 来未・平池 修		356(4)
男性型脱毛症用薬……………小山 太郎・小林 一広		360(4)
勃起不全治療薬……………小山 太郎・小林 一広		364(4)

鎮痛薬

非ステロイド性抗炎症薬(NSAIDs)		
……………木下 真弓		368(4)
非麻薬性鎮痛薬……………西 智弘		374(4)
麻薬性鎮痛薬……………上原 優子・松本 禎久		378(4)
神経障害性疼痛・三叉神経痛治療薬		
……………石井 智子・井関 雅子		383(4)
非ピリン系解熱鎮痛薬……………金子 惇		388(4)

アレルギー薬

点鼻ステロイド薬……………森本 佳和		392(4)
ステロイド外用薬		
……………川瀬 正昭・出光 俊郎		396(4)
抗ヒスタミン薬……………猪又 直子		400(4)
ケミカルメディエーター遊離抑制薬		
……………佐々木 徹		405(4)
ロイコトリエン受容体拮抗薬		
……………佐藤 秀彰・永田 真		408(4)
Th2 サイトカイン阻害薬……………山田 浩和		412(4)

リウマチ・膠原病治療薬

糖質ステロイド薬		
……………矢野 裕之・金城 光代		416(4)
生物学的製剤……………上地 英司		421(4)
免疫抑制薬……………松井 和生		426(4)
抗リウマチ薬……………野村 篤史		430(4)
膠原病治療薬……………横川 直人		434(4)

泌尿・生殖器薬

排尿障害(下部尿路症状)治療薬

……………河内 明宏	438(4)
経口避妊薬……………山本 由理・桑原 章	442(4)

感染症治療薬・ワクチン

ペニシリン系……………椎木 創一	448(4)
セフェム系, モノバクタム系…岩渕千太郎	452(4)
カルバペネム系……………山口 征啓	455(4)
アミノグリコシド系	
……………林 良典・岡 秀昭	458(4)
マクロライド系……………岩渕千太郎	462(4)

テトラサイクリン系……………上田 晃弘	465(4)
リンコマイシン系……………竹下 望	468(4)
耐性グラム陽性菌に対する抗菌薬	
……………高橋 雄一・上原 由紀	472(4)
ニューキノロン系…林 良典・岡 秀昭	476(4)
インフルエンザ治療薬……………齋藤 昭彦	480(4)
抗ヘルペス薬……………安藤 尚克・忽那 賢志	484(4)
抗 HIV 薬……………横幕 能行	489(4)
抗結核薬……………奥村 昌夫・倉島 篤行	494(4)
抗真菌薬(ポリエン系, キャンディン系,	
トリアゾール系)……………脇坂 達郎	498(4)
ワクチン……………丸山 貴也	503(4)